

令和7年度 第2回 風北ジョイナスの集いメモ

【実施日時】 令和7年9月27日 土曜日 14時～17時

【会場】 暫定近隣センター1階C会議室（沼南庁舎駐車場隣接 旧保健センター）

【参加者】 5名

ジョイナスメンバー 外尾 岡田 高橋 山田 石河

オブザーバー 風早北部地域ふるさと協議会防犯防災部部长 古山

【議題】

(1)「防災すごろく」作り

(2)連絡事項

①ひまわりプラザまつり（11/29～12/7開催予定）にて

「防災クイズ 第5弾！」を掲示予定

②「逆井防災研究会」との交流会について

* 柏市地域協働を考える会 代表の深津様よりのご依頼

（南部地域にある逆井町会の協力団体として、防災活動を学習、

実践する「逆井防災研究会」の一員として活動

在宅避難や災害時の生活（食事やトイレ等）、地域の防災施設見学等を楽しく
行っている）

* 依頼内容：

お互いの活動を紹介し、良いところを学ぶ機会を作って頂きたい

特に、災害の実体験を伺う機会を作って欲しい

時期は、来年の2月後半ごろとのこと

③次回集い日程と内容について

【メモ】

(2) 連絡事項から確認

①ひまわりプラザまつり（11/29～12/7開催予定）にて

「防災クイズ 第5弾！」を掲示予定

クイズ10問については、書籍より抜粋

掲示方法（掲示、Web回答等）、優秀者への商品については、現在思案中

・メンバーより：防災品も良いが、お米の進呈は、貴重であった。

②「逆井防災研究会」との交流会について

* 2/22（日）14：00～15：30

ふるさと会館（柏市逆井515-1）を予定

- ・メンバーの参加を募り、交流会実施方向で進めていく
- ・被災体験講話について、高橋さんより協力をいただいた（私事により、参加が難しい場合は、方法を検討）
- ・大橋さんのご予定を確認する
- ・逆井研究会やジョイナスで取り組んできたこと等の情報交換を予定している

追加事案

＊風早中学校での避難訓練への協力依頼（ジョイナスで作成した防災グッズの展示）

- ・協力：外尾、山田（両者、スケジュール調整のうえ、参加可能か決定する）
- ・今回、トイレ事情に特化した講話を予定しているので、色々な企画ではなく、関連付けて実施する方が、参加者の印象に残るのでは？

また、携帯トイレを実際に作る予定なので、そこをサポートしてもらいたい

- ・災害トイレの使い方を伝え続け、常識に！を目指したい

→内容について会長に提案

- ・トイレ事情の中で、ペットシートを推奨してきたが、ペットシートは使わないで！と講習を受けたこともあり、衝撃だった
- ・ペットシートでは、人間の汚物処理には限界がある（菌の繁殖、匂い、吸収力等）、ゴミの量が増えるなどの課題もあるようだ
- ・ゴミは、数日、もしくは数週間以上回収させないこともあり、できるだけまとめる必要もある
- ・固めれば燃えるゴミとして出せるので、凝固剤の確保、使用は大事知識として持っておく
- ・東京都では、汚物の出し方も決められていて、生ごみや紙ごみとは分けている所もある（作業者の安全を図るため）。柏市でも、そういう決めごともある必要なのでは？
- ・小学校の委員会活動に「防災委員会」を作り、防災について取り組む活動なども有効と考える
- ・集いで得た知識の中で、消臭効果のあるパンの袋は捨てずに活用している
- ・防臭効果の高い袋はPP（ポリプロピレン）と記載有り

（１）「防災すごろく」作り

＊テーマ、対象を決める

- ・物事の道理がわかり、家族と考える機会になることを考えると、小学校中学年（３、４年生）が良いのでは？小学校への配布を考えてはどうか？毎年配布すれば、家族世帯に行き渡っていく
- ・作るなら、紙もコピー紙ではなく、丈夫なもので作ったほうが良い
- ・１セット２００円のすごろく商品などもあり、購入数によっては、名入れもでき、

内容も良い

→予算的に難しい。原案を作り、プリント業者に頼んでの作成は可能

- ・防災に必要なのは、「体力！知識力！判断力！」とされているように、実際その場で動くペナルティー的な内容を組み入れるのも楽しいのでは？

防災運動会などを取り入れる所も多くなっている

また、アイテム集めで、家庭にある防災品を持ってくるのは？

→ママの怒りをかいそう…散らかり過ぎてキーンとなる

でも、体力は大事！

◇ 検討を重ねた結果・・・

*対象：小学校中学年

*テーマ：災害時、命を守る行動を考えよう！

*内容：（表面）自宅で留守番中の地震編 （裏面）外出先での地震編

（問題）各20問 （サイズ）A2（大判で作成）

（解説書&アイテムカード&サイコロ&コマ）A3（未定）

（ルール）

- ・正しい行動のマスに止まった時は、アイテムカードを1枚GET
- ・間違った行動のマスに止まった時は、アイテムカードを1枚返す
または、1回休み
- ・いち早くゴールを目指すことも勝負の一つだが、集められたアイテムの数で勝敗が決まる

*（表面）自宅で留守番中の地震編

スタート：地震だ！自分の体は自分で守る！

1. 地震だ！テーブルの下に隠れる→アイテムゲット！
2. 慌てて外に飛び出した→アイテムを1つ返す。または1回休み
3. ランドセルやクッションで頭を守った→アイテムゲット！
4. タンスがグラグラ…、近づかずにケガはなかった→アイテムゲット！
5. エレベーターに乗ろうとした！ダメ！→アイテムゲット！
6. 災害用伝言ダイヤル171に電話して「無事です！」メッセージを入れた
→アイテムゲット！
7. 慌てて走り回って転んだ→アイテムを1つ返す。または1回休み
8. むやみに外に出なかった→アイテムゲット！
9. 近所の人に「大丈夫？」と声を掛けられて安心した→アイテムゲット！
10. ラジオやテレビで情報を聞いた→アイテムゲット！
11. 冷蔵庫が倒れてきた。近づかないようにしたのでケガはなかった
→アイテムゲット！

- 1 2. ヘルメットや帽子をかぶった→アイテムゲット！
 - 1 3. 避難が必要だったので、近所の人と向かった→アイテムゲット！
 - 1 4. 一人で歩き回って迷子になりかけた→アイテムを1つ返す。または1回休み
 - 1 5. 怖くて涙が出たけど、頑張った→アイテムゲット！
 - 1 6. お家の人と連絡がとれた→アイテムゲット！
 - 1 7. 外で、家族の帰りを待った→アイテムを1つ返す。または1回休み
 - 1 8. 近所の人に、助けを求めた→アイテムゲット！
 - 1 9. 揺れがおさまったので、食べるものや水、懐中電灯を探した
→アイテムゲット！
 - 2 0. 床に散らばったガラスやコップで怪我をした
→アイテムを1つ返す。または1回休み
- ゴール：家族と合流して一安心！これからの事を皆で考えよう！
在宅避難？避難所へ向かう？どちらを選択するか、安全に過ごすための方法を見つけよう！

＊（裏面）外出先での地震編

- スタート：地震だ！自分の体は自分で守る！
1. 地震だ！カバンで頭を守った→アイテムゲット！
 2. お巡りさんを見つけ、一緒に避難した→アイテムゲット！
 3. ビルのそばにいた。ガラスが落ちてきた
→アイテムを1つ返す。または1回休み
 4. 道路に逃げた→アイテムを1つ返す。または1回休み
 5. 大人の人に「避難所はどこ？」と聞いた →アイテムゲット！
 6. 高い塀のそばにいた。塀が倒れてきた
→アイテムを1つ返す。または1回休み
 7. 狭い路地から出た →アイテムゲット！
 8. 川の傍に逃げた。水が増えてきた→アイテムを1つ返す。または1回休み
 9. 知らない人についていった→アイテムを1つ返す。または1回休み
 - 1 0. 友達と手をつないで逃げた→アイテムゲット！
 - 1 1. 電話がつながらない…どうしようと不安になり動けなくなった
→アイテムを1つ返す。または、1回休み
 - 1 2. 学校の先生を見つけたので、声を掛けた→アイテムゲット！
 - 1 3. 広い公園や広場に避難できた→アイテムゲット！
 - 1 4. パンザマストで「避難所はこちら！」を聞いた→アイテムゲット！
 - 1 5. ブロック塀の傍に仲良しのネコがいたので、助けに行った
→アイテムを1つ返す。または、1回休み
 - 1 6. ケガをしている人がいたので、近くの人に伝えた→アイテムゲット！
 - 1 7. 危ないから自分だけで逃げて、友達とはぐれた

→アイテムを1つ返す。または1回休み

18. 雨が降ってきたので、カッパを着た→アイテムゲット！

19. お店の中で地震が起きたので、お店の人の話を聞いて行動した

→アイテムゲット！

20. 看板や自販機の傍にいた→アイテムを1つ返す。または1回休み

ゴール：安全な場所に避難できた！家族と会う方法を見つけよう！

伝言板に書く、災害ダイヤル171を利用する、むやみに動いてしまうと会えないこともあるよ。避難場所では、皆に指示を出している人や周りの大人に助けを求め、安全に過ごすための方法を見つけよう！

＊解説書：問題解説や家族で話し合う機会となるよう、子どもに伝えて欲しいことを記載

例)・災害用伝言ダイヤル171の練習

- ・日頃から地域で顔見知りの関係性を作っておくことの大切さ
- ・公衆電話のかけ方や設置されている場所の確認
- ・助けを求める必要性
- ・はぐれた時の約束事
- ・問題を選んだ理由＝防災、減災対策に必要なこと

＊アイテムカード：防災備蓄品色々

＊サイコロ：1が2面、2が2面、3が1面、休が1面の6面とする

★提案：完成、配布後、春に親子参加のすごろく大会を実施しては？

- ・大判を作り、人間すごろく的に行うのも防災を楽しく学ぶ機会となる
- ・防災運動会なども啓発活動の一つになるのでは？

③次回集い日程と内容について

- ・12月の集いにて、実際にやってみて検証し、完成を目指す
- ・場所：クルトコ
- ・候補日を連絡し、日程を決める